



学校だより

後 川

No. 14

令和4年 1月11日(火)発行
四万十市立後川中学校

さあ 3学期～最後の学期～

令和4年(2022年)3学期が始まりました。元気な笑顔で3学期を迎えることができました。始業式で確認したところ、宿題や学習に計画的に取り組み、お手伝いをこなし、生活リズムにも気をつけて充実した17日間の冬休みを過ごしたようで嬉しく思ったことです。



1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と時間の経つ早さにたとえられます。1日は24時間、誰にも平等に与えられています。無駄にせず、自分自身の成長に使っていきましょう。特に今学期は私たちにとっては特別な学期です。生徒の皆さんと教職員が共に学習し、過ごすことのできる最後の学期です。この後川中学校での生活は三か月を切りました。一日一日を大切に、1時間の1時間の授業に集中し、丁寧に精力的に過ごしていきましょう。

これまで以上に楽しい学校生活となるよう、やってみたいことやチャレンジしてみたいことなど、どんどんアイディアを出し合って実現していきましょう。新しい年の初め、みんながもっている無限大の可能性を信じています。自分のやりたいことや夢、希望を思い描き、実現に向けて一緒に進んでいきましょう。

この1年が後川中学校の皆さん、保護者の皆様にとってよいことがたくさんある輝かしい1年となりますようお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお願いします。

お知らせ

1月31日(月)に全校生徒でバスを貸し切り、高知城歴史博物館と高知城の見学を予定していましたが、全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が増加していることから、今回のバスツアーは取りやめることとしました。

当日は、通常の授業・給食、部活動となります。

実は、この計画は当初9月初旬に行う予定でしたがコロナの影響で延期していました。2月以降に改めて実施することは時間的にも厳しいため、高知城歴史博物館へのバスツアーは中止といたします。ご了承ください。

どうか、子どもの言い分に十分に耳を傾ける親や教師になってほしいと思います。そうすれば子どもはどんどん自分の意見を言う意欲的な人間になるでしょう。

その意味で「オレの言うことを聞け」と子どもに迫る親や教師は、まさに時代に逆行していると言わなければならないでしょう。

平井信義『意欲を育てる子育て』から抜粋。「意欲(自主性)」や「思いやり」を育てることの大切さを訴えた児童心理学者(東京生まれ 1919～2006)